

# 西中だより

平成28年度 No.1

平成28年 4月11日

須賀川市立西袋中学校

発行責任者 鶴巻 弘士

## &&& お世話になった職員との別れ（離任式の様子） &&&

- 3月31日（木）に長らく本校に勤務された先生方との離任式が行われました。今年度は、2名の職員が退職され、5名が転出されました。それぞれに、子ども達との思い出を語り、今後も頑張ってほしいと希望を語って、学校を去って行かれました。
- 在校生を代表して、生徒会の羽生亮太君（旧2年1組）が、お一人お一人の西袋中学校における思い出の一こまを、感謝の気持ちを込めて発表しました。最後の部分で「お世話になった7名の先生とお別れするのはとても悲しいです。でも、悲しむだけではなく、先生方から教わったことを生かして頑張っていくことが、先生方への恩返しであると思っています。」と、これからの決意を述べていました。

### 【退職・転出された職員の紹介】—敬称略—

- ・教頭 遠山 眞一 退職
- ・調理員 村越美江子 退職
- ・教諭 山崎 正彦 転出：小塩江中学校へ
- ・教諭 遠藤 千恵 転出：須賀川二中へ
- ・教諭 信楽 健二 転出：須賀川三中へ
- ・教諭 鯨岡 忠将 転出：鏡石中学校へ
- ・講師 室井満利奈 転出：小名浜高等学校へ

## # \$ # 新たに職員をお迎えして（着任式の様子） # \$ #

- 4月6日（水）8時50分から、体育館で新しく転入してこられた職員の皆さんを迎える着任式を行いました。私から、生徒に対して、転入職員を簡単に紹介し、遠藤 涼君（3年3組）が生徒会歓迎のことばを次のように述べていました。「私たちも一つ上の学年に進級し、これからの希望や期待で胸がいっぱいです。気持ちを新たに頑張っていきます。先生方にはいろいろとご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご支援とご指導をよろしく願います。」

### 【転入された職員の紹介】—敬称略—

- ・教頭 蛭田智之：古殿町立古殿中学校より
- ・教諭 曲山潤子：浅川町立浅川中学校より
- ・教諭 西牧 征：須賀川市立仁井田中学校より
- ・講師 和田壮央：須賀川市立大東中学校より
- ・教諭 古川直己：須賀川市立第三中学校より
- ・調理員 佐浦圭子：新採用
- ・教諭 関 和人：須賀川市立仁井田中学校より



## 《 校長のつぶやき 》・・・ 新年度に望むこと ……

- 春に組織のメンバーが入れ替わるのは、どこにも見られることである。プロ野球はドラフトで新人選手が加入して、チームを活気づける。同じように、学校でも慣れた先生が他校へ転出していき、替わって新たな気持ちを抱いた先生方が転入してくる。そして、平成28年度がスタートする。
- 今年度の入学式でも話しましたが、全校生に是非身に付けてほしいことは、「元気なあいさつ」「気持ちを込めた清掃」「靴や自転車やスリッパを揃える」ことです。これらは簡単なことですが、日々続けて、身に付ける（無意識にできる）ことは難しいことです。3年生にとっては12月頃に、2年生にとっては2年後、1年生にとっては3年後に迎える入試に必要な基本的なことです。
- 親と子でほどよい距離を保つとは、簡単に言えば「構い過ぎない」ということです。義務教育は、9年間で高校受験を経て、夢の実現に向けて自分で新たな一歩を踏み出します。中学校の3年間では、自分の事は自分で言い、自分なりの（自分らしい）考えを持ち、判断して、一人で歩めるようになることが大切なのです。よって、体調が悪くなければ、自転車や徒歩で学校に通う習慣を大切にしてください。もちろん、遠距離の場合や帰りの安全を考えて車で登下校する生徒も居ると思います。その場合は、数百メートル離れた所で下車し、友達と挨拶を交わしながら歩いて登校する姿を望みます。